

簡易乾燥炉、簡易保温庫 製作のすすめ



● 市販のロッカー、保管庫を利用し、簡単に乾燥炉、保温庫等を製作できます。

- ・ 市販のロッカー、保管庫の内側に断熱材を張り付けてください。
- ・ 熱風の入口と出口の穴加工をおこなってください。
- ・ 熱風発生機を上部に設置し、必ず上部より熱風を供給してください。

(必要に応じて、熱風入口部への整流板、排気用スリットパイプ、排気調節用ダンパ、排熱利用チャンバー等を設けてください。)

参考図面は、当社ホームページにて無料提供しております。

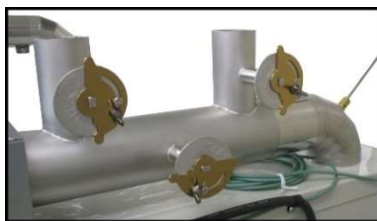


《製作具体例》

- ・ マルチドライヤ (旧モデル)
HAS-15T(1100-1.4C-007X)
AC100V ヒータ容量1.4kW



- ・ 排気調節用
吸排気4方向ダンパ



外部排気、またはマルチドライヤ側排気(排熱利用)の調節ができます。

- ・ 排熱利用チャンバー



周囲温度の低い冬場に排熱利用ができます。

- ・ 熱風入口整流板

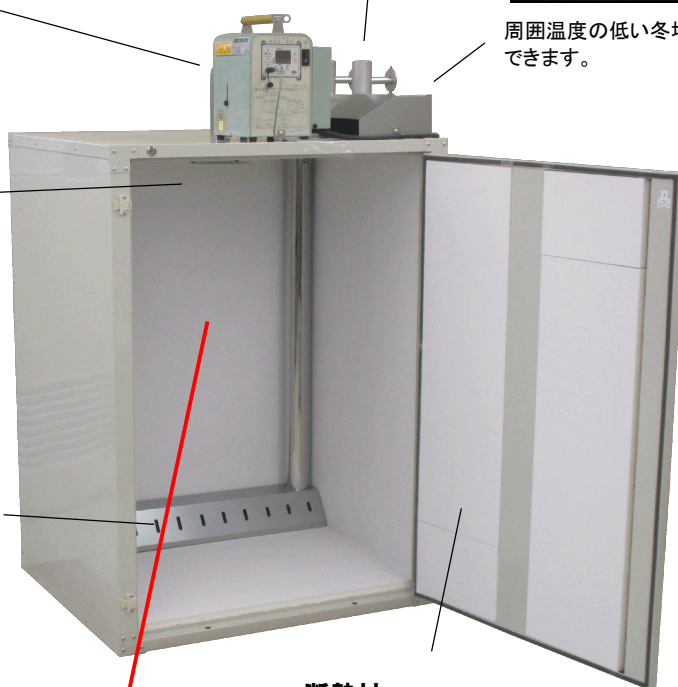


炉内に均一に熱風を拡散できます。

- ・ 排気用スリットパイプ



炉内の熱風を均一に排気できます。また、排気パイプを炉内に設置することにより、放熱を低減できます。

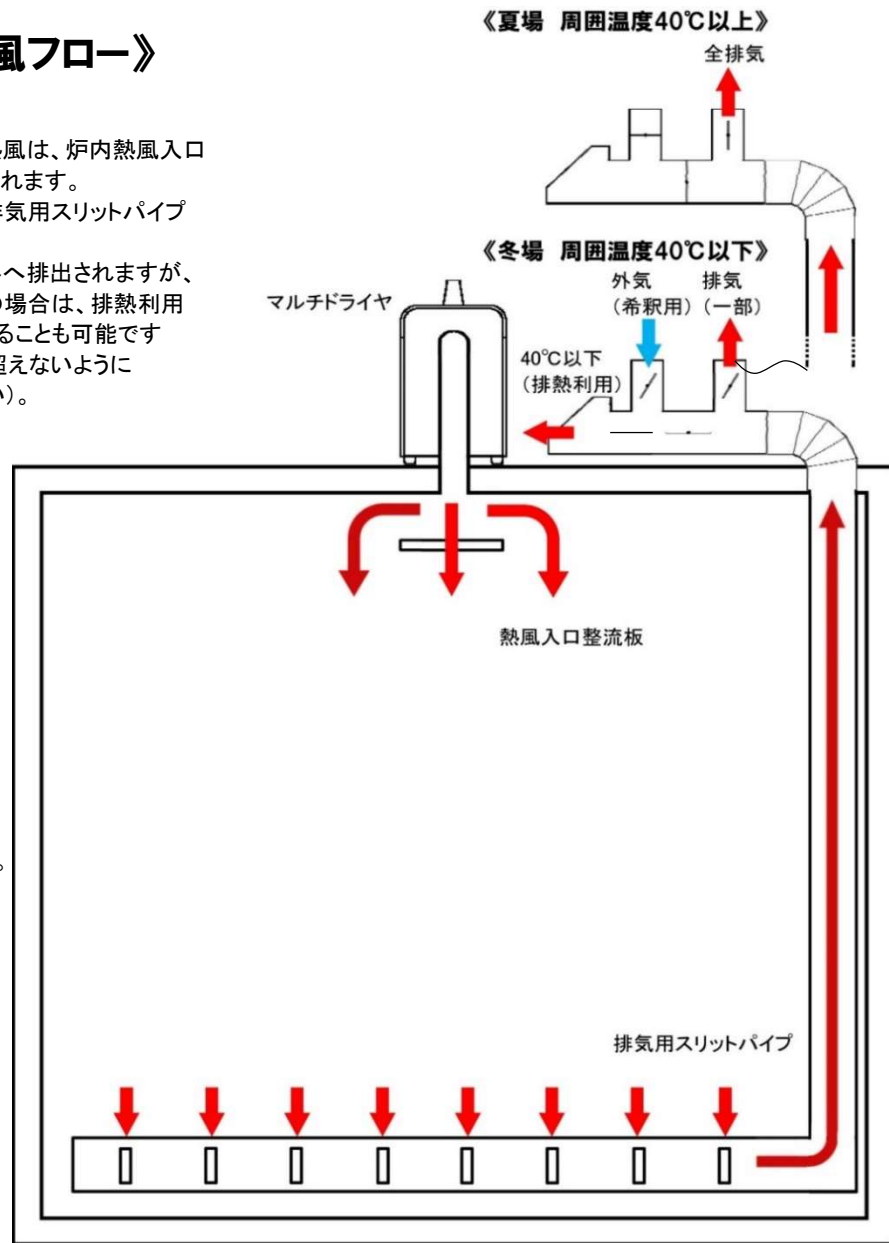


炉内温度
70℃

- ・ 断熱材
カネライトパネルK (株式会社 カネカ) 厚み20mm
耐熱温度70℃

《熱風乾燥炉 熱風フロー》

マルチドライヤから吐出された熱風は、炉内熱風入口整流板にて炉内に均一に拡散されます。拡散された熱風は炉内下部の排気用スリットパイプより炉外へ排気されます。基本的に排気された熱風は屋外へ排出されますが、冬場等、周囲温度が40℃以下の場合には、排熱利用としてマルチドライヤに吸入させることも可能です（この場合、吸入温度が40℃を超えないように外気の希釈にて調節してください）。



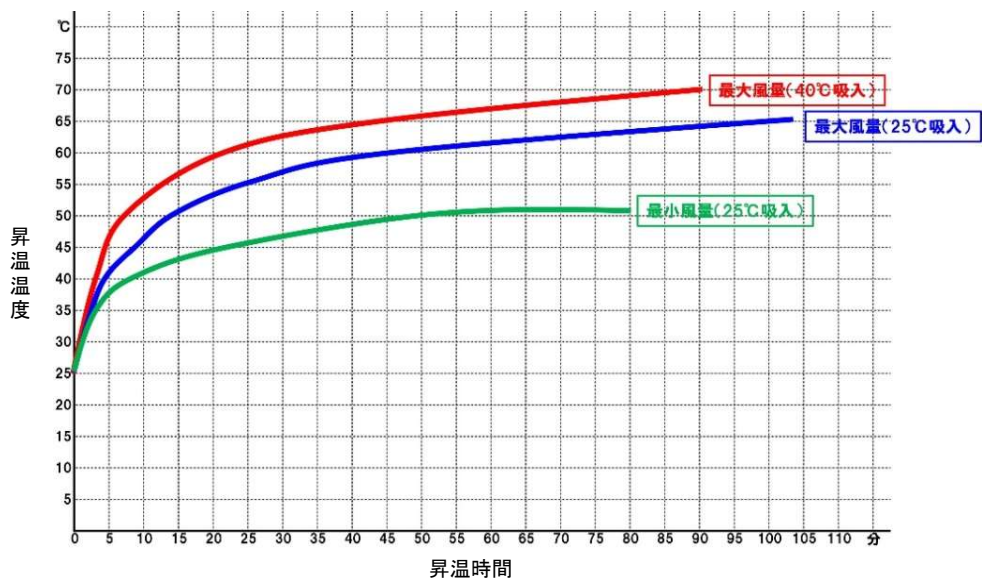
さまざまな温度と寸法に使用できる大型のマルチドライヤもあります。

HAS-17T(1200-1.7C-007X)
単相200V ヒータ容量1.7kW

HAS-27T(1200-2.8C-007X)
単相200V ヒータ容量2.8kW

HAS-37T(1200-3.7C-006X)
単相200V ヒータ容量3.7kW

《昇温データ》



株式会社 関西電熱

本社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号
☎(06)6785-6001(代) FAX(06)6785-6002
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号
☎(03)5710-2001(代) FAX(03)5710-2005
ホームページ www.kansaidennetsu.co.jp

米櫃乾燥炉 販売元

有限会社 翌檜工房

☎ (0724) 79-1985